

災害に備えてマイ・タイムラインを作成しましょう!! ①

注) ここでの避難場所は洪水に対応した避難先です。
地震及び大規模事故災害時の避難場所とは異なる場合があります。

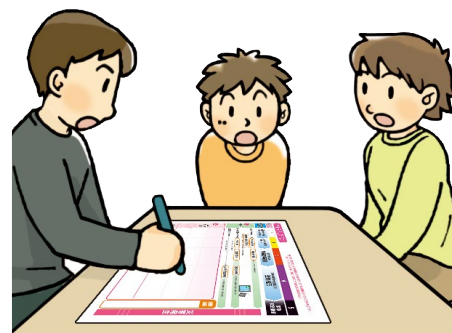
マイ・タイムラインとは

マイ・タイムラインとは、台風等での大雨によって起きる洪水や浸水のような進行型の災害が発生するおそれがある際に、「いつ」、「なにをするのか」を整理した個人の防災行動計画です。

台風の接近などにより、野田市に流れる河川(利根川や江戸川など)の水位が上昇して洪水が発生する場合などを想定し、自身の防災行動をあらかじめ時系列で整理した、マイ・タイムラインを作成しておくことで、いざという時に慌てることなく避難行動をとることができ、自分や家族の生命を守ることに繋がります。

マイ・タイムライン作成のメリット

- ①自宅や会社等の浸水リスクを確認できる
- ②避難先や避難先までの時間を確認できる
- ③避難行動や各防災行動の開始タイミングを確認できる
- ④平時の備蓄や避難時に必要な持ち物を確認できる
- ⑤災害時に収集すべき情報を確認できる

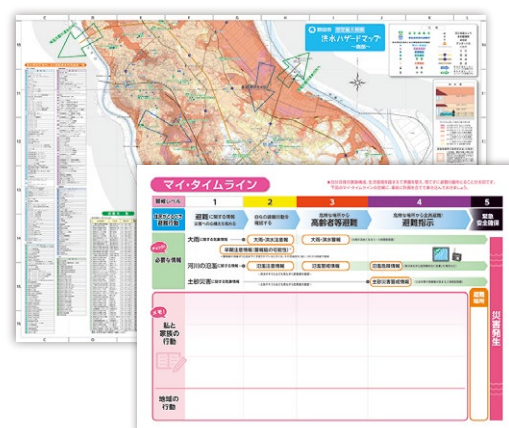


⚠ 平时から家族みんなでマイ・タイムラインを作成してください

マイ・タイムラインの作成手順

●用意するもの

- ・本冊子の別紙「洪水ハザードマップ」
- ・本冊子の別紙「マイ・タイムライン」



ステップ1 (住む場所の特性や家庭の状況を確認)

最初に自分の住む場所や避難場所は、洪水が発生した際に浸水想定区域内に位置するのか、「野田市洪水ハザードマップ」で確認しましょう。

自宅が浸水想定区域内に位置する場合には、市から避難情報が発令された場合に、安全な場所へ避難する必要があります。自宅から市内の洪水対応の指定避難所に避難するのか、もしくは市内および市外の知人や親戚宅などに避難するのかによって避難に要する時間や避難経路が変わりますので、最初に確認することが重要です。

また、家族の中に高齢者や妊婦など、避難に時間が掛かる方や配慮が必要となる方はいませんか。いる場合には、常備薬や母子手帳などの個人で必要なものを非常持ち出し品として準備することや、早めの避難行動をとることが重要です。

なお、自宅が浸水想定区域外に位置する場合は、避難所への避難を控え、在宅避難をお願いします。

ステップ2 (避難する場所と避難開始のタイミングを確認)

自分が住む場所の特性などを理解したら、次に避難する場所(避難先)を決めてください。避難場所として考えられるのは、洪水対応の指定避難所や市内および市外の知人や親戚宅、ホテルなどです。ライフスタイルや家族構成を考慮して生活しやすい避難場所について、ご家族と話し合いながら考えてみましょう。

避難場所が決まったら、避難場所までの所要時間と避難開始のタイミングについて検討します。家族に避難の配慮が必要な方(高齢者・妊婦など)がいる場合や避難場所までの距離が遠く移動に時間が掛かる場合と、そうでない場合とで、避難開始のタイミングは変わりますので、避難情報や気象情報をもとに、いつ避難を開始するか考えましょう。

参考資料

国土交通省 わがまちハザードマップ 浸水ナビ



国土交通省のホームページ「わがまちハザードマップ」では、全国のハザードマップを確認することができます。市外の浸水しない安全な場所を避難場所として検討する場合に活用できます。

また、「浸水ナビ」では、自宅などの地点を指定し、どの河川(破堤点)が氾濫した場合に浸水するか、河川の決壊後どれくらいの時間で氾濫水が到達するか、どれくらいの時間浸水した状態が継続するか、などの浸水リスクの想定を確認することもできます。

平時からの災害への備えとして、活用してください。

■わがまちハザードマップ

<https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/>



■浸水ナビ

<https://suiboumap.gsi.go.jp/>



ステップ3 (考えた内容を書き込んで完成)

自宅の浸水状況や避難開始のタイミングなどの確認ができたなら、ステップ2で確認した内容(避難場所や避難開始のタイミング)と、それ以外に必要な防災行動(避難の準備、持ち出し品の準備、家族への連絡、情報収集等)を考え、実際にマイ・タイムラインの「私と家族の行動」欄へ自分の避難行動計画を書き込んでみましょう。記入の際は、自分や家族がとる行動ごとに所要時間も記載し、避難準備から避難完了までにかかる所要時間を把握することで、災害が発生したときに慌てずに行動することができます。また、非常持ち出し品の準備ではその品名を、情報収集では確認先・確認方法等を具体化しておくことも重要です。

なお、地域の中で避難の呼びかけや、要配慮者と同行避難をするなど役割を担っている方は、最下段にある「地域の行動」欄にも忘れず記載してください。

災害に備えてマイ・タイムラインを作成しましょう!! ②

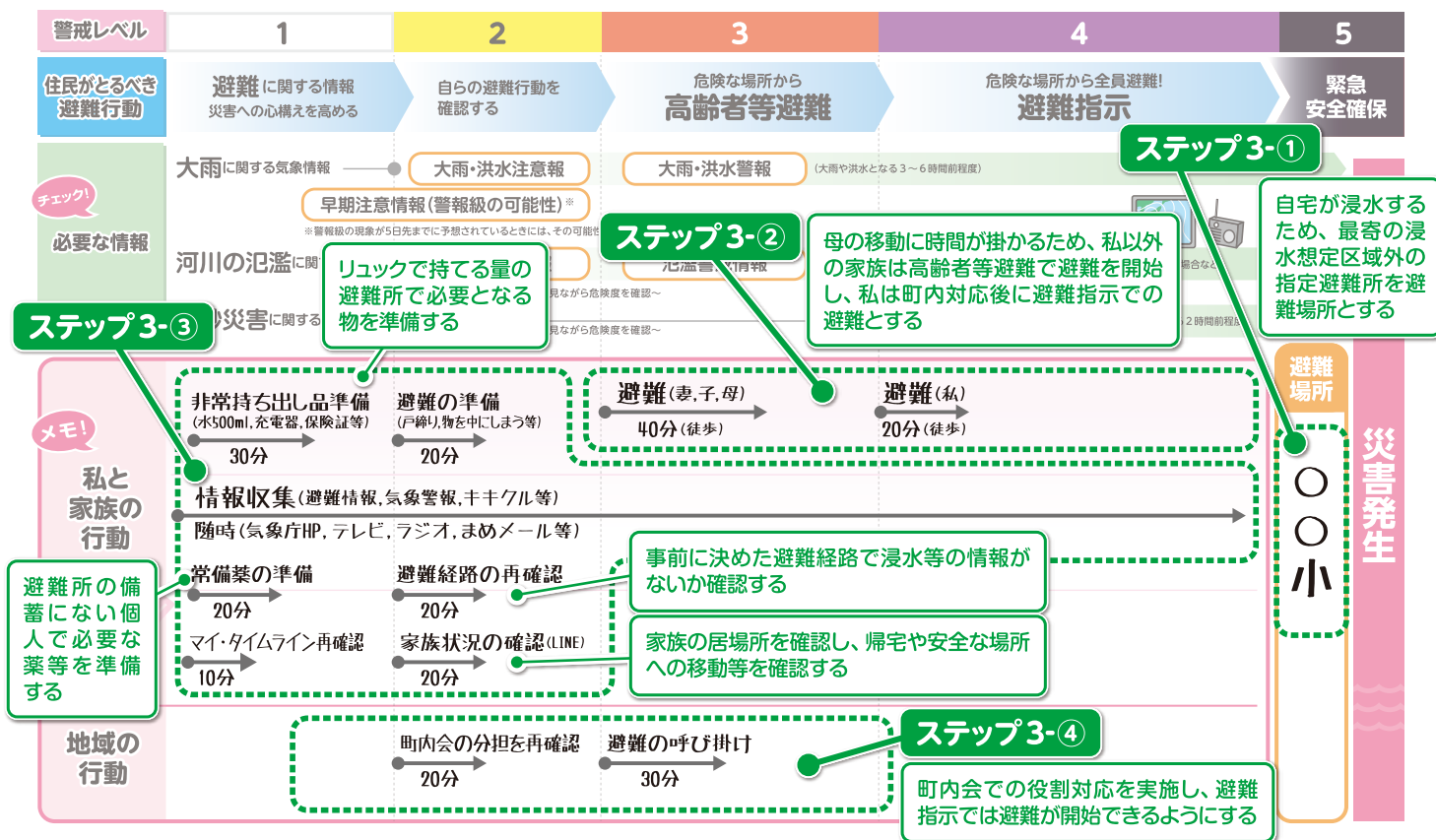
注) ここでの避難場所は洪水に対応した避難先です。
地震及び大規模事故災害時の避難場所とは異なる場合があります。

マイ・タイムラインの作成方法

各自でマイ・タイムラインの作成ステップ1.2.3を確認し、下記の作成例を参考に、別紙のマイ・タイムラインに自身の行動計画を作成しましょう。

～マイ・タイムラインの作成例～

●浸水想定区域内に住む家族の例
・私 (40歳): 町内会で活動 ・妻 (42歳) ・子ども (7歳) ・母 (70歳): 持病がある



ステップ1 (住む場所の特性や家庭の状況を確認)

- 1-① 洪水ハザードマップを確認し、自宅や会社等が浸水想定区域内か確認
1-② 家族内に避難に配慮が必要な人がいるか確認
※高齢者、障がい者、妊婦等で避難に配慮が必要な人がいる場合には、ステップ2の避難開始のタイミングの検討が必要です

※以下の□に確認した結果を記入してみましょう!

1-① □
(例) 浸水想定区域
浸水想定区域外

1-② □
(例) 高齢者あり

2-① □
(例) ○○小、友人宅、自宅

2-② (時間) □
(例) 40分(徒歩)

2-② (タイミング) □
(例) 高齢者等避難

ステップ2 (避難する場所と避難開始のタイミングを確認)

- 2-① 1-①の確認結果から、避難場所を確認
●浸水想定区域内の場合 →市外を含めた浸水しない避難所や親戚宅、友人宅等(分散避難)
●浸水想定区域外の場合 →自宅(在宅避難)(浸水しない場合)
2-② 避難場所までの移動時間を考え、避難開始のタイミングを決定
●移動に時間が掛かる場合 →市の避難情報「高齢者等避難(レベル3)」で(家族構成や移動距離的に)避難
●移動に時間が掛からない場合 →市の避難情報「避難指示(レベル4)」で避難

ステップ3 (考えた内容を書き込んで完成)

- 3-① ステップ2-①で確認した避難する場所を「避難場所」欄に記載
3-② ステップ2-②で決めた避難開始のタイミングでの避難行動について、「私と家族の行動」欄に記載(在宅避難の場合は、在宅避難であることを記載)

※各防災行動はその行動内容に応じた警戒レベルで、行動を開始するように記載してください(作成ポイントも参照)
※各防災行動に掛かる時間も記載してください

- 3-③ 避難行動以外の防災行動も「私と家族の行動」欄に記載(以下例を参考)

例(随時) 気象情報や避難情報の確認(まめメール、気象庁ホームページ)
(レベル1) 非常持ち出し品準備(充電器、水500ml、保険証等)、常備薬の準備、買出し(必要な食料等)、スマホの充電、マイ・タイムラインの確認
(レベル2) 家族の状況確認(メール、LINE)、避難の準備(戸じまり、物を中にしまう等)、避難経路の再確認

※非常持ち出し品や情報収集先・確認方法等は具体化しておくことも重要です
※その他、自分に必要な行動を自由に記載してください

- 3-④ 地域の中で避難の呼びかけや、要配慮者と同行避難をするなど役割を担っている方は、最下段にある「地域の行動」欄にも記載

作成ポイント

1 警戒レベルと防災行動の開始タイミング

避難や非常持ち出し品の準備などの防災行動をいつ開始するかは、災害発生のおそれが近づいている危険度を表す5段階の警戒レベルを理解し、レベルに応じて行動をとることが重要です。(以下※は警戒レベルで確認すべき情報等の例です)

警戒レベル 1		備え ※早期注意情報
警戒レベル 2		準備 ※気象注意報などや、市からの情報
警戒レベル 3	警戒レベル 4	避難開始と完了 ※市からの避難情報
警戒レベル 5		災害発生またはひっ迫状況 ※緊急安全確保

★レベル5は災害が発生している等の状況のため、必ずレベル4までに浸水しない安全な場所に避難を完了できるように計画を立ててください

2 防災情報の活用

災害のおそれがある場合には、各種防災情報を自ら積極的に情報収集して、避難行動などの防災行動を開始してください。

気象庁の「キキクル(危険度分布)」では、大雨による洪水・土砂・浸水災害の危険度の高まりを確認でき、「早期注意情報(警報級の可能性)」では、大雨や暴風などの警報級の気象現象の可能性の予想(5日先まで)を確認できます。平時から情報収集方法の確認や各アプリの登録を行い、災害時には情報収集することも防災行動の一つとして、マイ・タイムラインに書き込みましょう。

■キキクル(気象庁)

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>



■早期注意情報(気象庁)

<https://www.jma.go.jp/bosai/probability/>

